





新公会計info

第8号 2018.6.27発行
新公会計検討委員会事務局





本号の内容

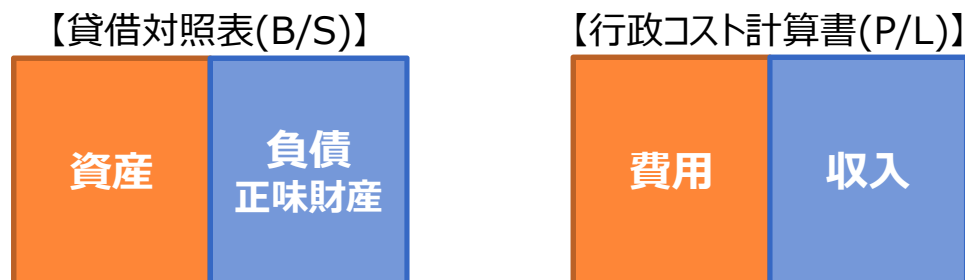
-  やさしく解説 簿記研修のおさらい(第1回)
平成30年1月から2月に開催した簿記研修のおさらいを、今後数回に分けて掲載します。
第1回は「仕訳の基本パターン」です。
-  よくわかるシリーズ～新公会計制度におけるキーワード解説～
今回は、「財務諸表の読み方(キャッシュ・フロー計算書)」について解説します。



やさしく解説 簿記研修のおさらい(第1回)

平成30年1月から2月に開催した職員向け簿記研修のおさらいです。
第1回は、「仕訳の基本パターン」です。

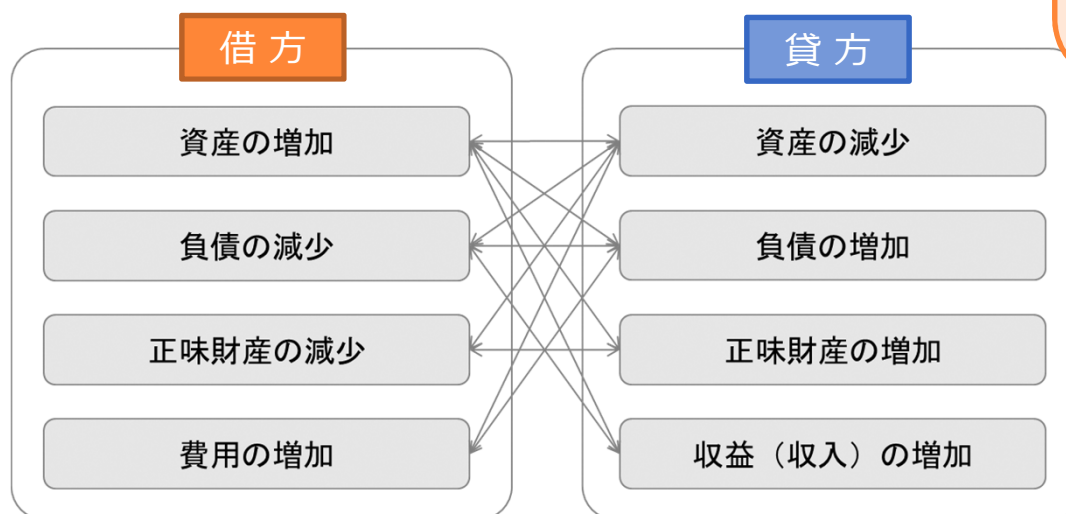
○財務諸表 (イメージ)



財務諸表の「資産」等の位置(ホームポジション)と仕訳要素の「増加」は同じ方向になっていますね。このホームポジションを覚えれば、仕訳の組み合わせは自然に覚えられますね。

例：
資産 B/Sの左側
「資産の増加」借方(左)

○仕訳組み合わせ



<注> 財務諸表及び仕訳の要素は、東京都基準の財務諸表に準拠しています。





「現金預金」(資産項目)を例に、仕訳の基本パターンを見てみましょう。
次のページに練習問題があります。

基本パターン

借方	金額	貸方	金額
現金預金	100	XXXX	100

現金預金が100増加した (資産の増加)

借方	金額	貸方	金額
XXXX	50	現金預金	50

現金預金が50減少した (資産の減少)

① 地方税300を受け取り(収入の増加)、現金預金が増加した。③ 物件費10を支払い(費用の増加)、現金預金が減少した。

借方	金額	貸方	金額
現金預金	300	地方税	300

借方	金額	貸方	金額
物件費	10	現金預金	10

② 区債200を発行し(負債の増加)、現金預金が増加した。

借方	金額	貸方	金額
現金預金	200	特別区債	200

④ 区債100を償還し(負債の減少)、現金預金が減少した。

借方	金額	貸方	金額
特別区債	100	現金預金	100

⑤ 土地50を購入し(資産の増加)、現金預金が減少した。

借方	金額	貸方	金額
土地	50	現金預金	50

イメージがわきましたか？





練習問題「仕訳の基本パターン」

仕訳を考えてみよう

問題



- ① 100万円の建物（資産科目：建物）を現金（資産科目：現金預金）で購入した。
- ② 職員に10万円の給料（費用科目：給料）を現金（資産科目：現金預金）で支払った。
- ③ 50万円の借入金（負債科目：借入金）を現金（資産科目：現金預金）で返済した。
- ④（応用）30万円の委託料（費用科目：委託料）を請求されたが、未払（負債科目：未払金）である。

単位:万円

	借方勘定科目	金額	貸方勘定科目	金額
①				
②				
③				
④				



💡よくわかるシリーズ

「財務諸表の読み方(キャッシュ・フロー計算書)」のはなし

キャッシュ・フロー計算書ってどんなもの？



1年間の現金の流れを表したものが、キャッシュ・フロー計算書です。キャッシュ・フロー計算書では、現金収支を3つの活動区分（行政サービス活動、社会資本整備等投資活動、財務活動）に分けて表示します。

行政サービス活動 (A)	50
地方税 (収入)	500
給与関係費 (支出)	△400
その他	△50
社会資本整備等投資活動 (B)	△500
国庫支出金 (収入)	800
基金積立金(支出)	△1,000
その他	△300
財務活動 (C)	△100
地方債発行収入	100
地方債償還金支出	△250
その他	50
収支差額 (D=A+B+C)	△550
前年度からの繰越金 (E)	1,000
現金残高 (D+E)	450

← 経常的な行政サービスの提供に係る現金収支

← 固定資産や基金の増減に係る現金収支

← 外部からの資金調達やその償還に係る現金収支



💡よくわかるシリーズ

「行政コスト計算書」と「キャッシュ・フロー計算書」の関係

＜行政コスト計算書＞

＜行政収入＞	
税金	(※) 500
＜行政費用＞	
給与関係費	(※) 400
その他	(※) 50
減価償却費	80
	530
差引	
	△30

減価償却費は、現金の支出を伴わない計算上の費用です。

投資活動および財務活動に伴う現金収支は、収入/費用ではありません。

＜キャッシュ・フロー計算書＞

行政サービス活動 (A)	50
地方税 (収入)	500
給与関係費 (支出)	△400
その他	△50
社会資本整備等投資活動 (B)	△500
国庫支出金 (収入)	800
基金積立金(支出)	△1,000
その他	△300
財務活動 (C)	△100
地方債発行収入	100
地方債償還金支出	△250
その他	50
収支差額 (D=A+B+C)	△550
前年度からの繰越金 (E)	1,000
現金残高 (D+E)	450

(※)説明の便宜上、キャッシュ・フロー計算書の項目と同額にしていますが、必ずしも同額とは限りません。(行政コスト計算書の説明は第7号をご覧ください。)

「収入/費用」(収入と費用の発生に注目)と「現金収支」(現金の収支に注目)は、一部似ていますが、同じではありません。そのため、両者を区別して把握する必要があります。





次号以降も、財務会計システムの情報や、
新公会計の実務に関する情報など提供し
てまいります。

新公会計info 第8号

発行 新公会計検討委員会事務局

